

第 8 回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名 第 8 回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時 令和 2 年 7 月 15 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 20 分まで
3	会 場 安曇野市本庁舎 4 階 大会議室
4	出 席 者 那須会長、丸山副会長、望月委員、中山委員、宮崎委員、増田委員、降旗委員、栗原委員
5	市側出席者 専職員課長、平倉人権男女共同参画課長、渡辺秘書広報課長、飯田情報統計課長、児林財政課長、大澤税務課長、望月収納課長、岩淵財産管理課長、高橋地域づくり課長、鳥羽長寿社会課長、西澤介護保険課長、上條国保年金課長、降幡商工労政課長、山浦建設課長、横山都市計画課長、金井総務部長、丸山総務課長、藤森行政管理係長、飯田副主幹
6	公開・非公開の別 公開
7	傍聴人 1 人 記者 1 人
8	会議概要作成年月日 令和 2 年 7 月 15 日
協 議 事 項 等	
1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 会議事項 第 4 次行財政改革大綱・アクションプランに基づく令和 2 年度の取組み方針について</p> <p>(4) その他 今後のスケジュールについて</p> <p>(5) 閉会</p>
2	<p>会議事項</p> <p>第 4 次行財政改革大綱・アクションプランに基づく令和 2 年度の取組み方針について</p> <p>「 情報セキュリティ対策の強化」のシステム等への脆弱性対策プログラムについて、これはマイクロソフト社から提供されるプログラムの適用ということか。</p> <p>マイクロソフト社から提供されるプログラムを適用させている。</p> <p>「 情報セキュリティ対策の強化」の今年度の計画にある情報セキュリティ内部監査の実施について、監査員は誰が務めるのか。</p> <p>情報統計課の職員が務める。ただし情報統計課の監査については他課の職員が務めている。</p> <p>内部監査で指摘された事項は公表しているのか。</p> <p>庁内での報告という形でまとめている。</p> <p>「^㉓移住定住促進事業」の市人口の社会増減数年 300 人増という目標について、この目標値は「^㉔生産拠点の拡充」の取組みによる効果は加味してあるのか。具体的にどんな施策を行うことで何人増加するというのを積上げての年 300 人増加という目標になっているのか。</p> <p>具体的な施策ごとに何人増加という積上げは行っていない。様々な施策を実施することで社会増を促していく取組みになっている。</p> <p>商工労政課の取組み等と関連させ、どの取組みで何人増加するという方向付けをし、市全体の取組みとして、うまくいっているといった説明を市民に出来るようにしてほしい。</p> <p>人口減少対策に特化した戦略として、第 2 期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略が今年度からスタートしている。この中で具体的な市の取組みを掲載している。</p>

土地の利用計画について、田園を残すことだけでなく、若者が働ける事業所の誘致等、開発のことも考えて、市役所全体で取組んでほしい。

現在、土地利用条例及び土地利用のマスタープランの見直し業務に取り組んでおり、今後、市民説明会等を実施していく予定である。

「公園施設長寿命化修繕計画の推進」について、老朽化した施設の更新と地域のニーズに応じた改修と二つの取組みがあると思うが、担当課として何か具体的な計画はあるのか。

公園の更新は毎年度の定期的な点検の結果で優先順位を決めるとともに地域の要望を基に更新を進めている。

少子高齢化が進み、公園の近所に子どもがいないような状況も考えられるので、遊具の更新だけでなく地域の新たなニーズに応えるような更新をお願いする。

公園の遊具等の施設を更新した場合、施工後の確認を市ではどう行っているのか。

工事が完成した後、検査を担当する職員が確認している。また、工事を担当する職員が工事開始から終了まで現場の確認や業者と打ち合わせをしている。

「e-Tax及びeLTAXによる自主申告の推進」について、市に来る申告相談者は白色申告者が多いのか。

原則、市では白色申告者しか受付けていない。青色申告者は税務署またはe-Taxを利用した申告となる。

白色申告の相談者を減らしていくことは困難なことなのか。

申告相談には農業所得、医療費控除の申告など様々な申告がある。特に給与の方で医療費控除の申告者が増加傾向にあり、添付書類の省略やコロナウイルス感染症の予防のため電子申告を利用する方は多い。しかし、パソコンやスマートフォンを利用した申告が難しい方々もいるので、一定程度で頭打ちになるのではないかと予想している。

安曇野市の合計特殊出生率について、改善はしてきているが長野県の平均値を下回っている。このことの原因について、何か分析しているなら教えてほしい。

合計特殊出生率の分析は行っていないが晩婚化・未婚化の進展、経済状況といった社会の構造変化が影響していると考えている。市としては子育てし易い環境づくりや結婚に結びつく事業に今後も取組んでいく。

「本庁舎の電力及び灯油使用料の抑制」の灯油の使用量について、大綱と今回の取組み方針で目標・指標の基準に差異があるがその理由は何か。

灯油の購入量と実際の使用量との差異である。

当初のアクションプランの目標と揃える検討をお願いする。

「低未利用財産の整理処分、有効活用」の未利用地について、市では未利用地の一覧を公表しているのか。

目標の年2件については再配置計画で譲渡・廃止していく施設を想定している。また、具体的な未利用地の資料は作成していない。

「実質公債費比率の健全化の堅持」の目標値について、財政計画より踏み込んだ目標を設定することは出来ないのか。

財政計画で掲げている目標値は市の各種計画でも使用しているため、計画ごとに目標値を変えることは事務的に煩雑になり、根拠が曖昧になるので財政計画と同じ目標値にしたいと考えている。

実質公債比率について、現在、目標値が約10～12%くらいで推移していくが、これが9%台になるのはいつぐらいになるか見込みを示すことは可能なのか。

財政計画は2年ごとに見直しを実施しているが、今後どのような事業を実施していくかによって変わっていく。そのため現時点では財政計画で示している目標値が最新である。

市の実質公債比率は県内19市の中では下位の方に位置していることについて、今後、どのくらいの位置になるのか、参考値で良いので市民にわかり易く示してほしい。

19市でどれくらいの位置になるかは他市の数値も変わっていくので示すことは難しい。ただし、財政は一般的には分かりづらい分野であるので、今後も市民の皆様にご理解をいただこう努めていく。

橋梁の点検について、災害発生時に危険性が高い場所にある橋梁はどれくらいあるのか。

市で管理している橋梁は761橋あるが、現在のところ危険性が高い場所にある橋梁は把握していない。今後、橋梁点検を進め危険性が高い橋梁を減らしていく。

朗人大学について、男女比率で圧倒的に女性が多い。シニアの男性を取込んでいくことを願う。

移住定住を促すプロモーションページの新設について、政策経営課所管の安曇野暮らし支援協議会に「安曇野に住もう」というサイトがあるので、一体化、連携等の検討をお願いする。

プロモーションサイトについて、市のホームページを親しみやすいものに変え、上手く安曇野暮らし支援協議会のページに行けるようなイメージを考えている。

プロモーションという観光的な視点が強くなってしまい、移住定住と視点は違うのであまり観光的でなく地域コミュニティや実際の暮らしがわかるようなサイトづくり心掛けをお願いする。

プロモーションという言葉は決して観光的なところを狙っているのではなくそこに住んでいる人の暮らしを大事にしながら連携できていければと考えている。

政策経営課や暮らし支援協議会と連携してより良いサイトづくりをお願いする。

「②人材育成基本方針に基づく人材育成に関する取組み」について、4級昇格の昇任試験に合格すると係長になれるということか

現在、全員が4級に昇格し、係長になっても係長と係長以外では給与にあまり差がない状況であり、係長のやる気につながっていない問題がある。今後は係長になる資格がある人だけが4級に昇格する仕組みに変えていきたいと考えている。

4級の者と係長職にある者に差は設けるのか。

若干の差を設けることは考えている。

目標・指標について、全体的に統一がとれていないので再考をお願いする。

整合性がとれるよう検討する。

「地域力向上支援事業」の各区に部制度を導入することについて、部制度の導入により区の役員の負担が増加したのではないのか。

部制度は持続可能な区の組織運営を図るための組織づくりを行う制度である。まだ始まったばかりの制度なので、各区の事情に応じ、改善していくべき点は今後改善していきたい。

女性の管理監督職の割合を増やしていく必要がある。

引き続き人材育成に努める。

以上